

JTI 2017年における成果および 2018年ガイダンス

Eddy Pirard
President & Chief Executive Officer

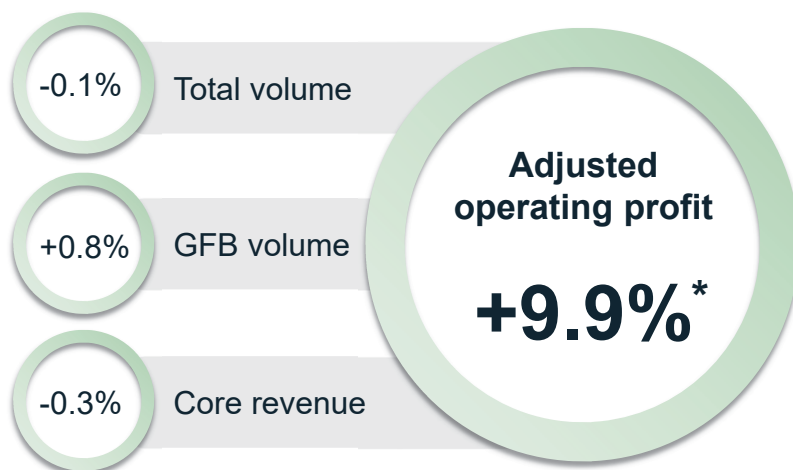
将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

将来の成長に向けた投資を実行しつつ力強い利益成長を実現

JTI 2017 performance



- シェア伸張による好調なGFBモメンタム
- 主にロシア・UKにおけるトップラインへの投資がCore revenueに影響
- 買収による事業基盤強化
- グローバルサプライチェーンの最適化が為替一定での利益成長を牽引

*UKにおける流通取引先の倒産申請に伴う損失を含めても、4%の利益成長

Note: 2017 vs. PY. At constant currency.

© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

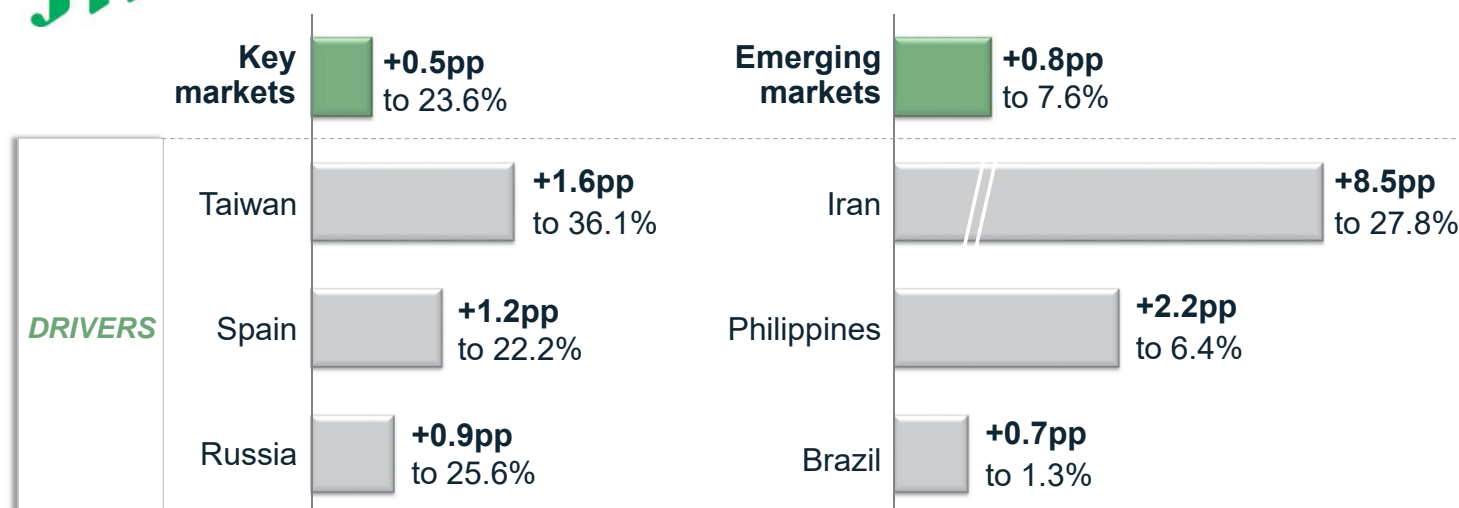
JT Investor Meeting

3

GFBのシェアが力強く伸張



GFB share of market (2017 vs. PY)



© Copyright JT 2018

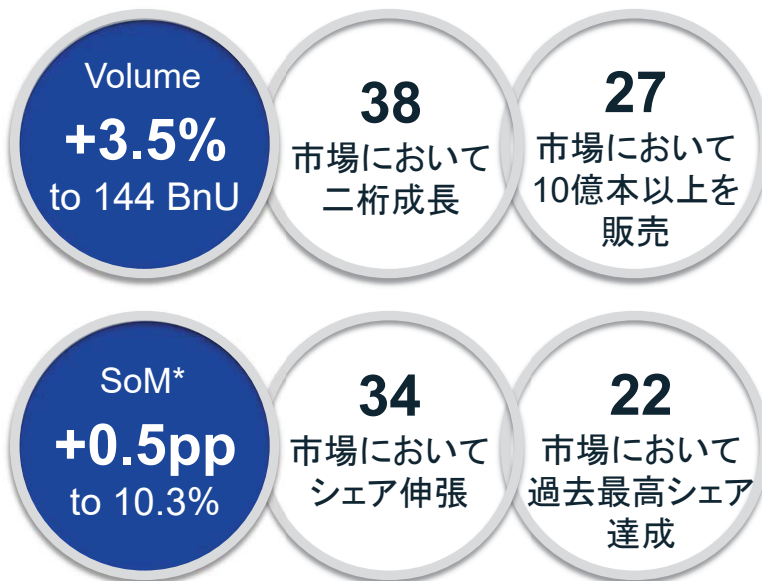
Note: SoM on 12-month rolling average to December. Source: Internal estimates.

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

4

Winston: GFBの成長モメンタムを牽引



- ポートフォリオへの投資が結実し、3年連続での力強い数量成長を達成
- フランス、ロシア、スペイン、トルコをはじめとする20以上の市場でリーディングポジションを保持



Winston XStyle Duo - Russia

© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

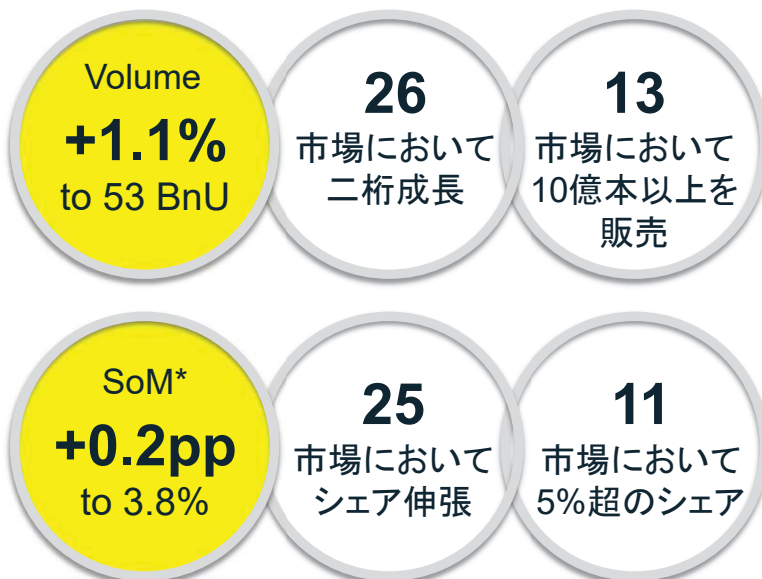
JT Investor Meeting

5

Note: 2017 Volume and SoM variance vs. PY. * SoM on 12-month rolling average to December, based on JTI's top-30 markets. Source: Internal estimates.



Camel: 過去最高の販売数量を達成



- 主にEmerging marketsの貢献により4年連続で数量成長
- 2015年以降新たに10市場に投入し、地理的拡大を継続



Camel Kretek - Indonesia

© Copyright JT 2018

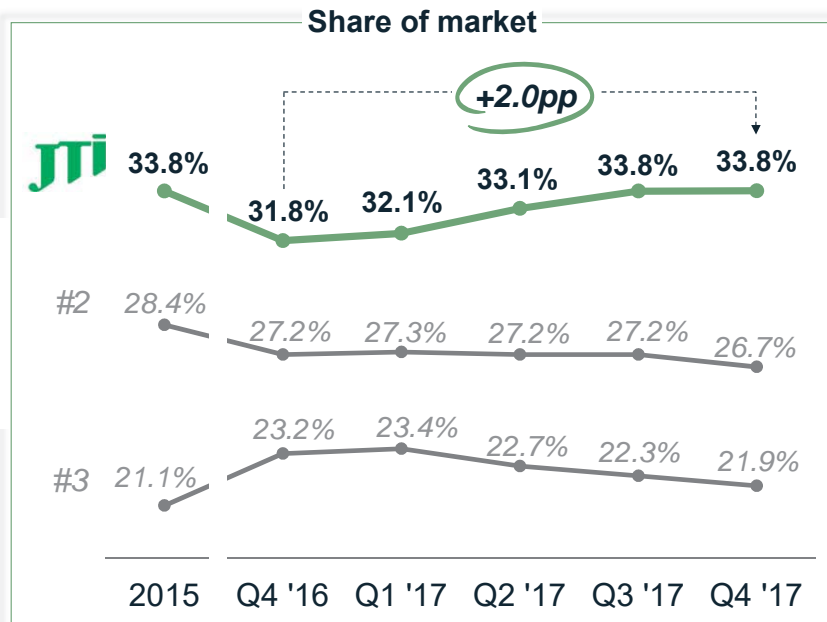
Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

6

Note: 2017 Volume and SoM variance vs. PY. * SoM on 12-month rolling average to December, based on JTI's top-30 markets. Source: Internal estimates.

ロシア: 市場シェアが着実に回復



© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

Note: Quarterly SoM on 3-month rolling average. Source: Nielsen and Internal estimates.

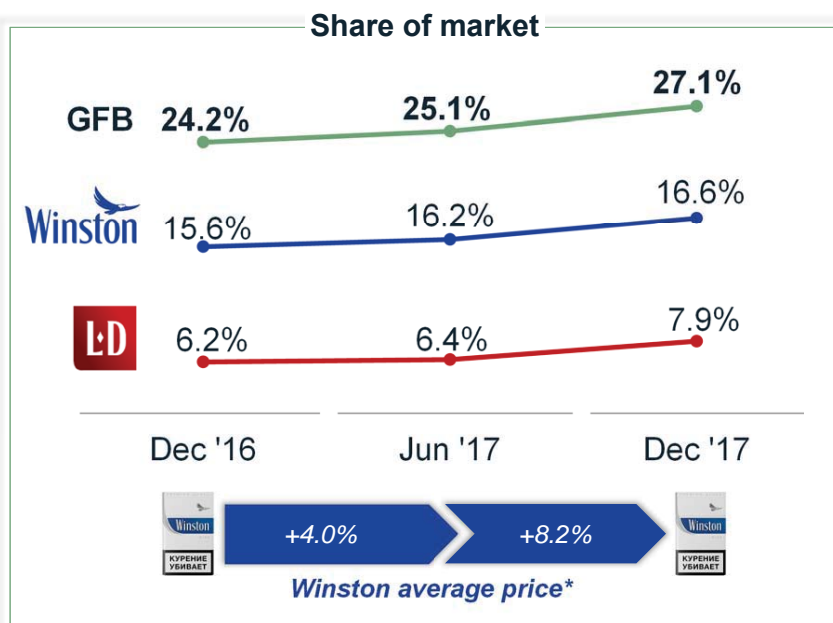
JT Investor Meeting

7

ポートフォリオへの投資が実を結び力強いシェア伸張を達成:

- 価格の適正化により競争力を強化:
 - 低価格帯におけるシェア伸張: +3.2pp vs. Q4 '16
- Cigarettesカテゴリー内のすべての成長セグメントにおいて目覚ましい成果(Q4 '17 vs. Q4 '16):
 - フレーバーオンデマンド製品: +15.7pp
 - コンパクト製品: +4.9pp

ロシア: WinstonとLDが過去最高シェアを達成



© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

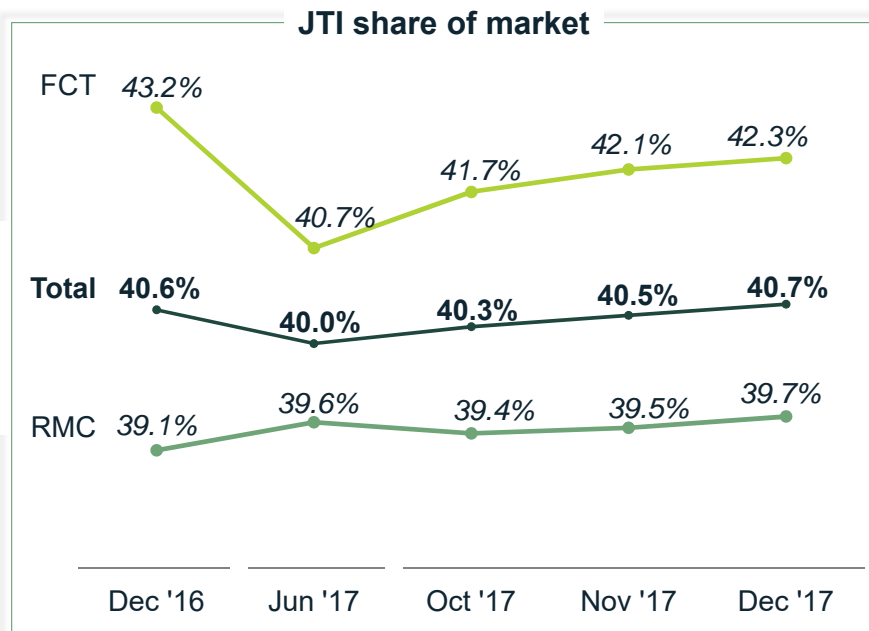
Note: Monthly SoM data. Source: Nielsen and Internal estimates. * Retail selling price for 20 cigarettes.

JT Investor Meeting

8

- Winston: No.1ポジションをより強固なものに
 - フレーバーオンデマンドおよびコンパクト製品セグメントでの成長
- LD: 数量成長と力強いシェアモメンタム
 - Moreを統合したことに加え、オーガニック成長が貢献
- 特に下期においてプライシングを着実に実施しながらも、シェアは堅調に推移

UK: シェアモメンタムが復調



© Copyright JT 2018

Note: Monthly SoM data. Source: Nielsen and Internal estimates.

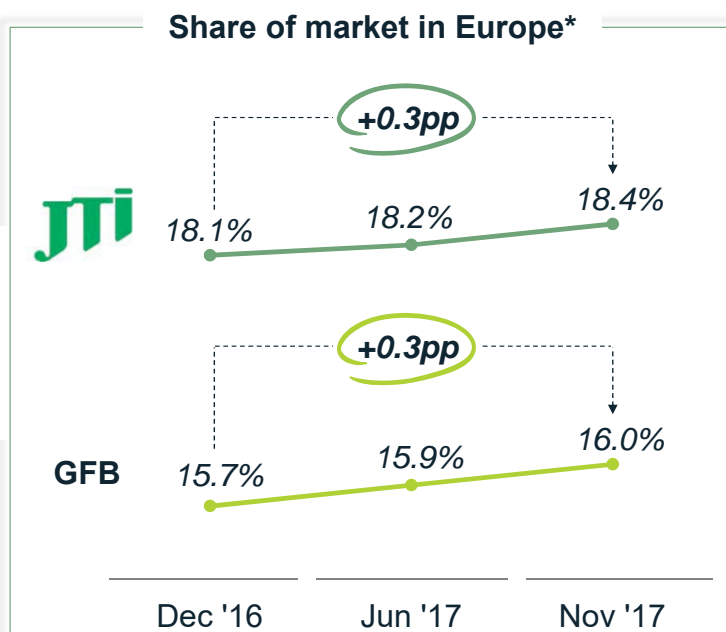
Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

9

- Fine cutカテゴリーでの価格競争の激化および新たな規制の施行等、UK市場にとって厳しい一年
- 第4四半期において、シェアが成長軌道へ回帰:
 - Fine cut – Sterlingが成長したことに加え、Amber Leafのトレンドも改善
 - Cigarettes –B&HとSovereignの好調なパフォーマンス

欧州市場: GFBに牽引された底堅いパフォーマンス



© Copyright JT 2018

Note: Monthly SoM data. Source: Internal estimates. * Excluding the UK.

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

10

- TPD2の施行および激しい競争により、さらに厳しさを増した事業環境
- 2018年は、堅調なシェアモメンタムにより順調な滑り出し
- 底堅いGFBパフォーマンス:
 - CamelおよびWinstonが、チェコ、オランダ、スペイン等の複数市場において過去最高シェアを達成
 - フランス、ドイツ、イタリアではチャレンジングな事業環境が継続

イラン: Winstonに牽引された目覚ましいパフォーマンス



- 3年連続で二桁の数量成長を達成し、収益貢献もより強固に
- 盤石なNo.1ポジション: シェアは50%以上
- No.1のRMCブランドであるWinstonは、過去最高の販売数量およびシェアを達成
- ATI買収後の強靱な事業基盤

© Copyright JT 2018

Note: SoM on 12-month rolling average to December. Source: Internal estimates.

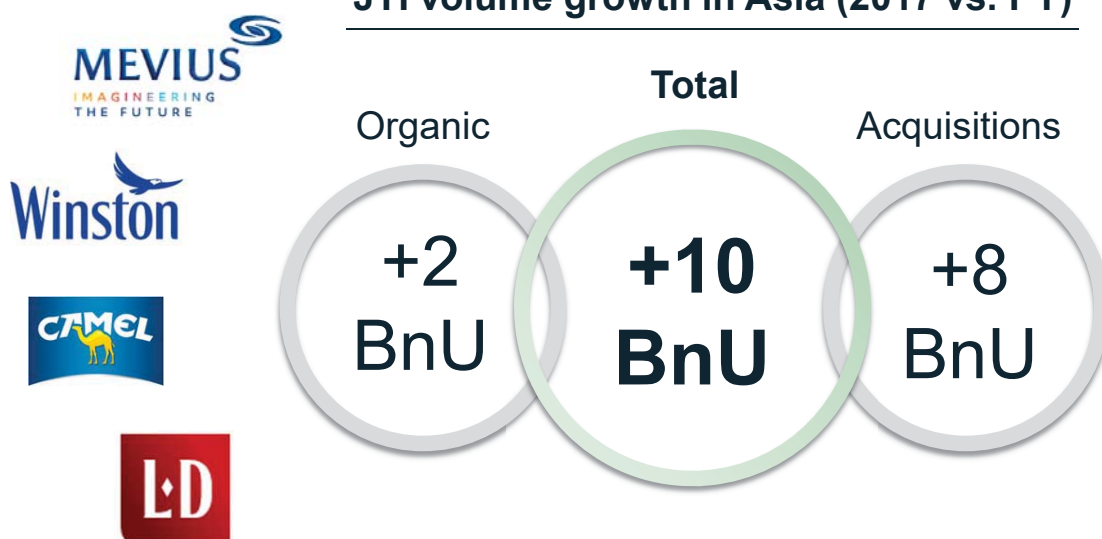
Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

11

アジアパシフィック: オーガニックと買収、双方を通じて事業を拡大

JTI volume growth in Asia (2017 vs. PY)



© Copyright JT 2018

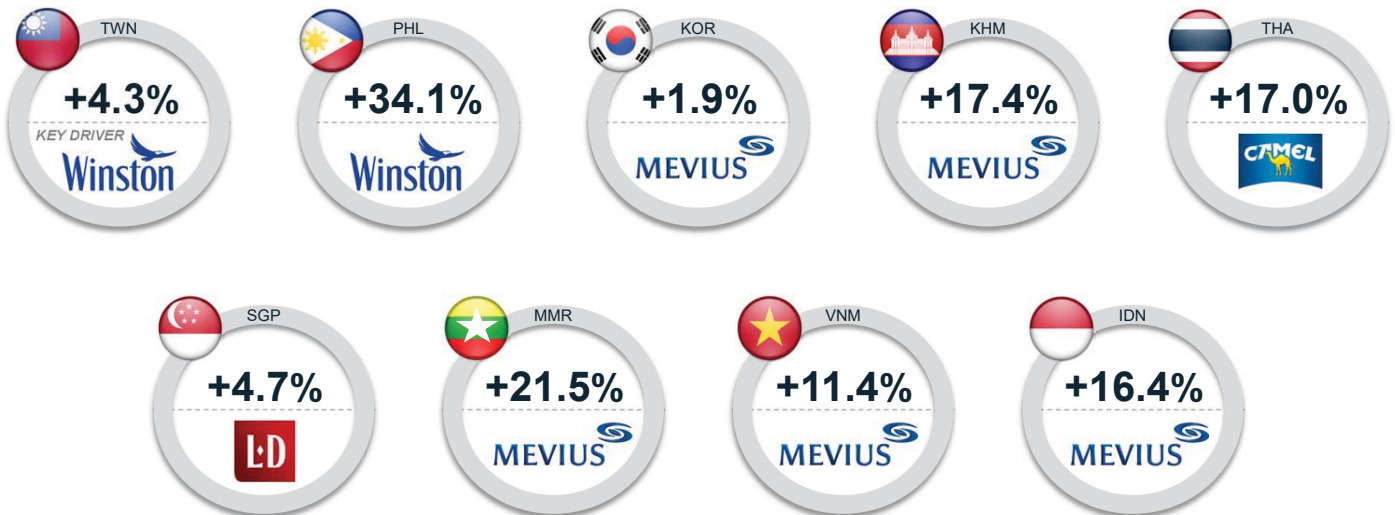
Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

12

アジアパシフィック: 持続的成長に資するオーガニックでの数量成長をGFBが牽引

GFB volume growth in selected Asian markets (2017 vs. PY)



© Copyright JT 2018

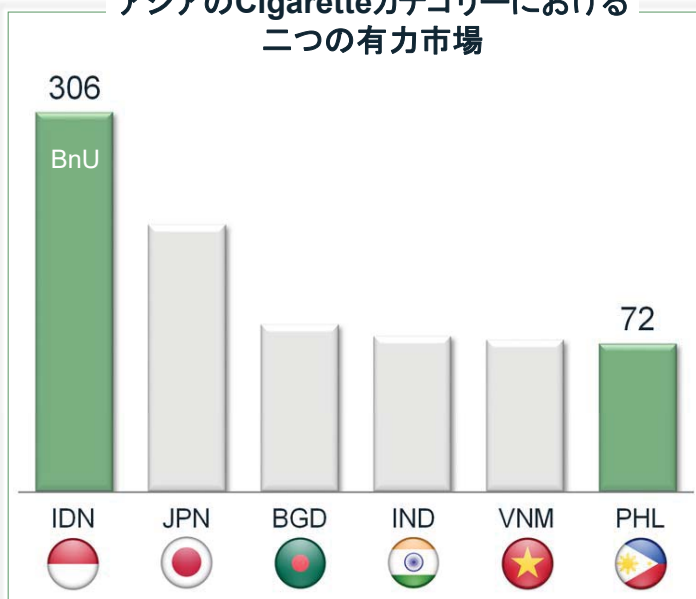
Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

13

フィリピンおよびインドネシア: さらなる事業基盤強化に向けた買収

アジアのCigaretteカテゴリーにおける 二つの有力市場



© Copyright JT 2018

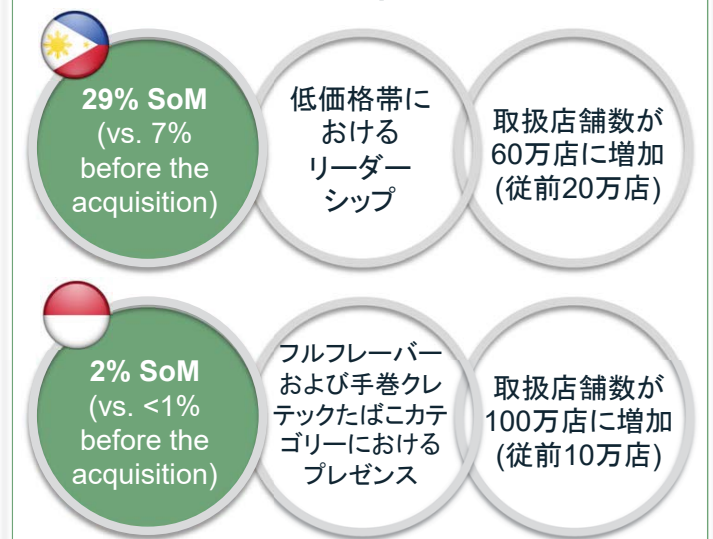
Note: Monthly SoM in December 2017. Source: Internal estimates.

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

14

多岐にわたりプレゼンスを 大きく強化



サプライチェーンおよび業務プロセス最適化によるコスト低減



- 計画的に実施してきた施策によるコスト低減効果が2017年の利益成長を牽引:
- 製造体制の最適化
- 対前年での原材料費相対減によるコストベネフィット
- 継続的な業務プロセスの改善による競争力の強化

© Copyright JT 2018
* Excluding the UK distributor impact.

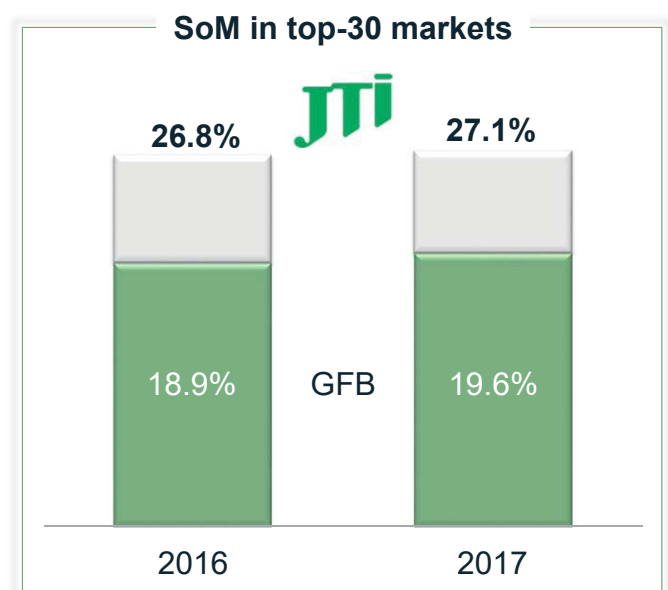
Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

15

2018年に向け、堅調なビジネスモメンタムを確認

- GFBが上位30市場におけるシェア伸張を牽引
- 主要市場においてポジションをより強固に
- Emerging marketsにおける力強いオーガニック成長
- 買収を通じた事業展開地域の拡大
- コスト競争力の強化



© Copyright JT 2018
Tokyo – February 7, 2018
Note: SoM on 12-month rolling average to December, based on JTI's top-30 markets. Source: Internal estimates.

JT Investor Meeting

16

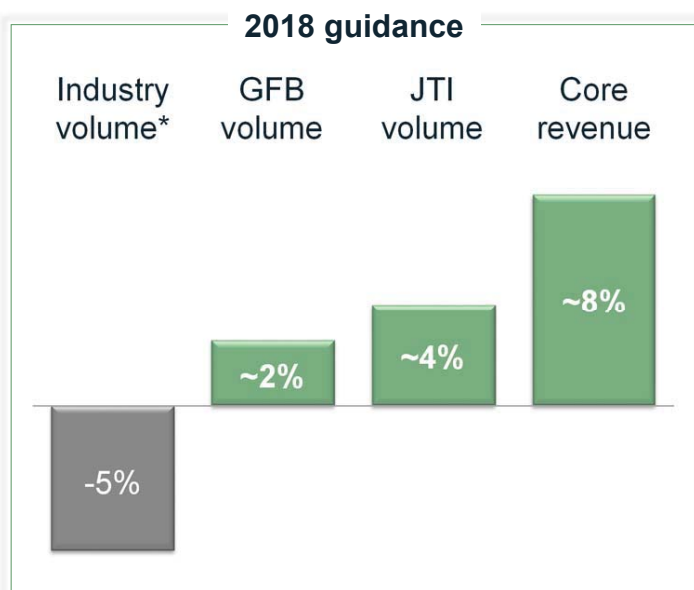
2018年ガイダンス

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

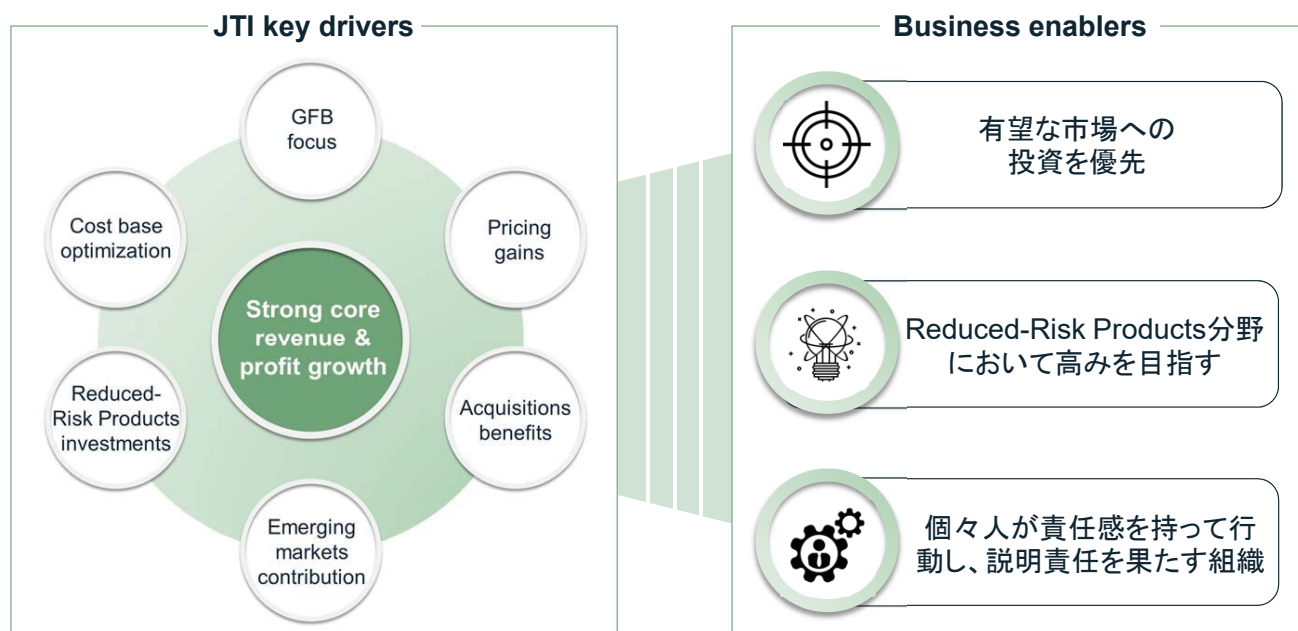
17

トップライン成長への回帰



- 総需要の減少は継続
- 力強い数量成長を目指す
 - 4つのGFBに注力
 - Emerging marketsにおける持続的なモメンタム
 - 買収効果も大きく貢献
- プライシングによる力強いCore revenue成長

持続的成長へのロードマップ



© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

19

(このスライドは空白です)

© Copyright JT 2018

Tokyo – February 7, 2018

JT Investor Meeting

20